

2007 年度

科目名	対象学科・学年 文学部日文1 回生 文学部英米1 回生 文学部文財1 回生 人間人社1 回生	担当者 小川 丈治
マスコミ論 A		
授業テーマ 映像の見方・描き方		
授業の概要と目標 「マスコミ論」は新聞、雑誌、放送、映画などのメディア（Media=媒体）を通じて、大量の情報を不特定多数の人々に伝える行為(Mass Communication=マスコミュニケーション、略してマスコミ)を論じる学問です。この情報を表現する手段は、以前は言語が主でしたが、最近は映像に比重がかかっています。学校では言語（日本語、外国語）の勉強はしてきましたが、映像の見方や描き方の勉強はなおざりです。これではいけません。講義では映像に焦点を当て、映像教材を多用して説明します。		
評価方法 採点は学年末のレポート内容70点、出席日数30点で計算します。		
テキスト 指定しません。毎回プリントを配付します。	著者	出版社
参考書 講義のたびに紹介します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 序・講師の自画像(VIDEO) (講師は元 TV ディレクター) ＜映像の歴史＞ 第1 講 現代の代表的マスコミ 「新聞と放送」概観 第2 講 映像の時代の意味 第3 講 歴史－絵画から写真へ 第4 講 歴史－動く映像の発明 第5 講 歴史－初期の映画 ＜映像の表現の特徴と技法＞ 第6 講 映像認知の仕組み 第7 講 脳の中の映像と言語 第8 講 映像と言語の比較 第9 講 映像表現法①（撮影） 第10 講 映像表現法②（編集） ＜映像表現の害と利点＞ 第11 講 ナチスと映画 第12 講 嘘つき映像の歴史 第13 講 米国の政治とTV映像 第14 講 映像との付き合い方		
＜注意＞「マスコミ論」を2単位だけとる人は、なるべく「マスコミ論A」（前期）を履修して下さい。B（後期）は前期の講義の応用編的内容です。		